

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立比々多小学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	・話す場面では話の内容が明確になるように構成を考えることができる。 ・思考に関わる語句の使い方が理解できている。 ・目的や意図に応じて資料を使って話すやり方を理解している児童が比較的多い。 ・文章内容の中心となる事柄を把握できる児童が比較的多い。	・自分の考えをまとめて文章に表すこと。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 ・目的に応じて文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけること。 ・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ・文中の主語、述語、修飾語、被修飾語の関係を捉えること。
算数	・棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることができる。 ・速さが一定である場面で道のりと時間の関係を考察することができる。	・数式や言葉を使って自分の考えたことを記述すること。 ・公式を活用して考えた求め方や理由などを筋道立てて説明すること。 ・三角形の面積の求め方について理解すること。 ・図形の構成の仕方を捉えること。
質問紙	・学校に行くのが楽しいと感じている児童が多い。 ・友だちと協力することを楽しいと感じている児童が比較的多い。 ・総合的な学習の時間では自分で課題を立てたり調べたことを発表したりする活動を行ってきたと感じている児童が比較的多い。 ・学級活動では、学級生活をよりよくするための活動がよく行われていると感じている児童が比較的多い。 ・算数の学習には積極的に取り組む児童が比較的多い。	・毎日3時間以上テレビゲームをしている児童が多い。 ・自分の思っていることを言葉で表すことができていると感じている児童が比較的多い。 ・家庭学習の計画を自分で立てたり、ある程度の時間をかけて行ったりしている児童が比較的多い。 ・授業で、自分の考えをまとめたり新しいものをつくり出したりする活動を行ってきたと感じている児童が比較的多い。 ・国語の学習の大切さは感じているが、内容がよくわからなかったり取組に消極的だったりする児童が比較的多い。 ・算数の問題の解き方がわからないときに、諦めずに方法を考える児童が比較的多い。 ・英語の学習に積極的に取り組む児童が比較的多い。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】

- ・国語の授業を通して、自分の考えをまとめて話し合う場面を増やしていく。
- ・学習課程の中に、文章を読む学習活動を意図的に設定することで、多くの文章に触れられる機会を増やしていく。
- ・単元の中に位置づける言語活動に自分の考えをまとめて書く活動を増やしていく。

【算数】

- ・様々な公式を覚えるだけでなく、活用して課題解決する学習活動を単元の中に位置づけていく。
- ・自分の考えをまとめて書いたり、発表したりする等の課題の解決に向けた活動を授業の中に位置づけていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

- ・学校に行くこと、友だちと協力して活動することを楽しみにしている児童が多くいます。
- ・毎日、テレビゲームを3～4時間以上している児童が多く見られます。家庭で児童の状況を把握し、やり過ぎないように話し合いをお願いします。
- ・自分で計画的な家庭学習をしている児童が比較的多いようです。家庭学習の意味を話し合ったり、計画を一緒に作ったりするなど、自主的な学習を促すようお願いします。
- ・自分の考えを書き表す力をつけていくために、家庭で読み聞かせをしたり一緒に本を読んだりするなどの読書体験が増えるよう働きかけをお願いします。